

課題分析とケーススタディで考察する： 固定費削減のための革新的アプローチ 間接材コスト最適化への視点と施策

■ 日 時 ■ 2015年 2月23日 月曜日 13:00 ~ 17:00

■ 会 場 ■ 東京・麹町 企業研究会 セミナールーム

■ 講 師 ■ 《基本・総合考察》

A. T. カーニー株式会社 パートナー 野田 武 氏

戦略オペレーションプラクティスのリーダーの一人
東京大学・大学院 工学修士、ペンシルバニア大学ウォートン校 MBA with Distinction (成績優秀賞)
大手エンジニアリング・建設会社を経てA.T.カーニー入社、2009年より現職
戦略的な視点からのオペレーション改革を目指して、多数の企業に対してコンサルティングを実施し、目に見える成果を実現している。全社・事業戦略の立案、オペレーション戦略立案及び改革の実施（調達、生産、マーケティング、営業、SCM）、グループ経営管理の高度化などのプロジェクト経験多数

《ケーススタディ》

ダイキン工業株式会社 経営企画室 畠山 昌也 氏

■本セミナー開催の背景■

経営環境が急速に変化する中で企業経営を効率的に行うためには固定費の削減が欠かせません。しかし、固定費の中には多様な費用が含まれ、また、管理主体が明確でないことによりブラックボックスになっている状況が多く見受けられます。このような場合に、固定費を効率的に削減するアプローチが「間接材コスト」への取り組みです。

原・材料費などの直接材は調達専門部門で集中的に管理されているのに対して、「間接材コスト」は組織的にも分散していて、管理対象となりにくく、固定費化しているのが現状です。そして、「間接材コスト」の内容は幅広く、原・材料費以外の全てのコストを含むため、まとめると総コストの2～4割程度にもなります。見えにくく、管理しにくいという特徴のため、あるべき価格水準から高止まりしやすい状況です。先進的な企業ではこのような状況に気がつき、見落とされていた効率化ポテンシャルを実現するために、コスト削減の取り組みに着手しつつあります。

本セミナーでは、間接材コストに取り組む意義やコスト削減アプローチなどを概観した上で、ダイキン工業（株）における「間接材プロジェクト」の取り組み事例を通して、具体的な成果を生み出すための進め方や留意点について解説していきます。また、この取り組みを通じて見えてきたグループ経営管理上の課題についても紹介していきます。

●参加要領●

●受講料●1名〈税込み、資料代含む〉

正会員	32400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてにFAXいただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日（開催日1週間～10日前までに）受講票・請求書をお送り致します。

●申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

一般社団法人 企業研究会
担当：早瀬 E-mail: hayakan@bri.or.jp
〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2
麹町 31MTビル 2F
TEL 03-5215-3512 FAX: **03-5215-0951**

141762-1201※	15・2・23	『固定費削減・間接材コスト』最適化	
会社名			
住所	〒	-	
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ	
		お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ	
		お名前	
e-mail			

※お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

13:00

【基本考察】

- はじめに
- 何故、「間接材コスト」なのか？
 - ・対象金額が大きい
 - ・市場価格と乖離しがち
 - ・即効性が期待できる
 - ・一度取り組めば、一定期間、持続可能
- 「間接材コスト」にありがちな課題
 - ・部門横断的に散在
 - ・可視化されていない
 - ・統制が利きにくい
 - ・部門集約の罨
- 「間接材コスト」削減の進め方
 - ・大きな効果を実現するための4つの視点と陥りがちな罨
 - ・効率的な対象の特定
 - ・実現可能性に基づいた論理的な目標設定
 - ・目標をやりきるための全社的な取り組み
 - ・リバウンドしないための定着化の仕組み

【講師】：

A. T. カーニー株式会社
パートナー
野田 武 氏

14:45

休憩

15:00

【ケーススタディ】

『ダイキン工業における間接材コストへの取り組み』

- 間接材コスト削減プロジェクトの概要と成果
- 対象とした間接材のタイプ、各課題と削減アプローチ
 - ・営業系案件／工場・研究所系案件／総務・人事系案件／
コーポレート系案件（IT、財務、法務等）
- プロジェクト推進上のポイント
- 定着化に当たっての仕組み作り
 - ・受け皿機能の構築／予算 PDCA サイクルへの埋め込み
- 本プロジェクトを通じて得られた学び、新たな課題設定
- 今後の拡大展開プラン
 - ・グローバル展開

【講師】：

ダイキン工業株式会社
経営企画室 畠山 昌也 氏

16:20

【Q&A】

【総合考察】

- 「間接材コスト」の削減を通じて見えてくる経営課題
 - ・機能子会社の存在意義と経営効率
 - ・グループ会社の運営体制と調達機能
 - ・予算の運用・管理の仕組み
- 「間接材コスト」の削減から始まる経営変革
 - ・プロジェクト事例の御紹介
- 簡易診断の御案内
- 質疑応答

17:00

終了

※講師企業と同業企業・同職種の方はご参加頂けない場合がございます。予めご了承ください。